様式第２号－１

事業計画書（その１）

① 団体の目的　＊定款，規約，会則等に定めている目的を，そのまま転記してください。

当法人は、多様化・複雑化していく社会課題に対して、その解決・改善を図るために活動する岡山県内の市民団体等と、その解決・改善を図るために諸資源の提供や自らの参画を望む個人、企業、団体等を結びつけることで、諸資源の循環をもたらし、社会課題の解決・改善の取り組みのための基盤充実を図る。また、その営みを通じて、誰もが社会課題の解決・改善に関われ、地域のあらゆる主体が公益を担いあう、当事者の意識と存在を大切にした安心で持続可能な地域社会の形成に寄与することを目的とする。

②事業の分野

□保健，医療又は福祉の増進　□社会教育の推進　■まちづくりの推進
□観光の振興　□農山漁村又は中山間地域の振興　□学術，文化，芸術又はスポーツの振興
□環境の保全　□災害救援　□地域安全　□人権の擁護又は平和の推進　□国際協力
□男女共同参画社会の形成の促進　□子どもの健全育成　□情報化社会の発展
□科学技術及び学術の推進　□経済活動の活性化　□職業能力の開発及び雇用機会の創出
□消費者保護　■団体の運営又は活動に関する連絡，助言又は援助

③事業の概要　＊事業の全体像を簡潔に記入してください。

Facebook などの SNS を活用して、社会的なことを発信するライター「ソーシャルライター」を育成する講座を開催し、市民ライターの育成をします。
また NPO 法人等が活動を発表する場をつくり、ソーシャルライターが記事を書き情報発信するという機会をつくり、団体の活動を発信することで市民参画を促す。
また、ソーシャルライターの取り組みのように自分の好きなことで社会参画できるというモデルの提示をしていく。

④社会的背景と解決しなければならない課題

＊提案するに至った社会的背景や市民ニーズ等は何ですか。また解決しなければならない課題は何ですか。

価値観が多様化し、地域ごとに人口構造など特性も違う現在、NPO 法人やまちづくり団体などの活動がますます重要になってきています。倉敷市内にも 100 を超える NPO 法人があり、（内閣府ポータルサイトによると H26. 10 末時点で 138 法人）また任意団体などまちづくり団体はその数倍の数があるといわれています。

しかし、取り組む団体は事業の運営が精一杯で、発信力の弱い団体も多く、また情報が氾濫する現在、市民がそうした地域団体の情報を得て、どの情報が自分にあったものか信

用できる情報か判断することが難しくなっています。

様々な取り組みがあるにも関わらず、またそれを必要としている人がいるにも関わらず、どんな取り組みがあるか分からず、サービスを活用できなかったり、参加できていなかったりという状況がおきています。

⑤受益者の範囲　＊提案する事業の対象範囲を具体的に記入してください。

【直接効果】　・SNS で情報発信したい人（50 名程度）

・発信したい NPO 団体（市内 4 団体程度）

【間接効果】　・市民公益活動を活用したい、関わりたい市民

（特にインターネット利用を活用する若者世代）

⑥事業の成果　＊④の課題に対して，事業を実施することで得られる成果とは何ですか。

・講座の受講生が取材から記事を書くというスキルをあげることで、自分の好きなこと（書くこと）を活かして社会参画するモデルを提示する。

・NPO 法人等（市民公益活動団体）の事業へ関わる人（寄付者・ボランティア等）を増やすモデルを提示する。

⑦事業の目標

＊⑥の成果を測る目安です。想定する結果より少し高いレベルで設定してください。また，目標の進捗状況を市の指定するブログに定期的に投稿していただきます。できるだけ数値やパーセントを用いてください。

・ソーシャルライター等取り組みの周知

初級講座への参加者　50 名以上

基礎講座への参加者　15 名以上

・NPO 等の活動発表の場（Share 会議）への参加　100 名以上

・ソーシャルライターの投稿に対する反応の数

当法人 facebook ページでの投稿

15 名×3 投稿　×　100 いいね　＝　4500 いいね

事業計画書（その２）

⑧事業の詳細

＊実施時期，場所，対象者，内容，特徴や重点事項など，できるだけ内容を明確にしてください。

■ ソーシャルライター講座の開催

○講座の企画・準備　（4，5月）
講師候補者（吉備人出版　山川代表を予定）と講座の日程調整等行い、講座の開催日を確定し、チラシ等により告知をする。

【入門講座】
ソーシャルライターという存在や仕組みを発信する講座を開催する。
入門講座の参加者から本格的な書き方講座、基礎編へ誘導する

対象は、SNSなどソーシャルメディアを活用している人
内容：　ソーシャルメディアの力・活用法
ソーシャルライターの必要性（社会の変化の状況）
書き方講座（入門編）※外部講師による

○倉敷開催
場所：倉敷物語館を予定
時期：7，8月の土日

○岡山開催
場所:　岡山駅周辺の会議室
時期：　6，7月の平日の夜
備考：　倉敷市内から岡山へ通勤・通学している人も多く、
勤め人等が参加しやすいように平日の夜に岡山で開催する。

【基礎講座】
対象：　ソーシャルメディアを活用して情報発信している人
そのうち、入門編受講者などソーシャルライターの
必要性を感じている人

場所：　倉敷物語館を予定
時期：　9月～11月
内容：　3回シリーズで開催
※外部講師（吉備人出版　山川代表）による指導及び添削
第1回】　書き方編
第2回】　取材編
第3回】　発信編
各回とも座学　＋　記事を書く実技を実践
第2回と3回は、取材対象（各回2団体）にゲストをお招きする。
備考：　参加費、5000円を予定

■ NPO 等の活動の取材の場の提供
（Share 会議の開催）

対象者：倉敷市内の団体　＋ソーシャルライター
　　市民公益活動に関心のある市民
時　期：11 月～2 月に 2 回開催
場　所：市内会議室およびイベントスペース
内　容：倉敷市内で取り組む団体の発表
　　参加者によるアイデアだし
　　ソーシャルライター記事作成
備　考：　Share 会議は一般の方にも参加を呼び掛ける
　　この会議の場が単なる取材の場でなく、団体の活動に興味のある方とつながる場にする。

■ ソーシャルライターの活動の発信（3 月）

Share 会議等終了後、ソーシャルライターの取り組みをまとめ、HP 等で発信する。

（参考）本申請事業とは別事業のイベント
■ ソーシャルライターの取り組みの発表
ソーシャルライターの取り組みについて、倉敷市提供の報告の機会でも発表をするとともに当法人で毎年 3 月 29 日に開催している「みんつくフォーラム」にて活動を発表する。

時期：平成 28 年 3 月 29 日
内容:：ソーシャルライターの取り組みについて発表
　　および優秀な投稿について紹介する。

⑨受益者負担　**※団体の財源確保のため，可能な限り参加費等を徴収してください。**

＊参加費や受講料を一般の参加者から徴収しますか。該当するものを丸で囲んでください。

徴収する　・　徴収しない

＊「徴収しない」とした場合，その理由を記入してください。

入門講座については、無料　（ソーシャルライター仕組みの周知が目的のため）

事業計画書（その３）

⑩事業の見通し　＊２年後，３年後といった将来，事業をどのように展開させていきますか。

ソーシャルライターの登録数を増やしていき、投稿にたくさん「いいね」が付いた記事を表彰するソーシャルライター大賞の創設など、ソーシャルライターのモチベーションを高める取り組みをしていき、日常に、社会的な目線をプラスして発信する「ソーシャルライター」の取り組みをひろげていく。

⑪団体の能力の活用

＊団体の持つ能力や特色を，課題の解決にどう活かしていきますか。

寄付や情報などの資源仲介をしている組織なので、様々な団体から相談を受けることがあります、そうした団体の活動をソーシャルライターとつなげることで関心のある人に届けていく。

⑫他団体等との協力

＊他団体等と協力して事業を行う場合は，その団体名や役割を記入してください。

⑬行政との協働　**※自主事業部門の団体は記入不要**

主となる部署名（　　）　主部署の同意（ あり ・ なし ）

その他の部署名（　　，　　）

協働する部署との協議

月　　日（内容：　　）

月　　日（内容：　　）

月　　日（内容：　　）

協働する部署の役割

様式第３号

予算書

（収入の部）　　（単位：円）

項　　目	金　額	内　　容
受益者負担 （参加費，受講料など）	75,000	基礎講座参加費 5,000 円×15 名
会費からの繰入金	40,000	
そ の 他		
市補助金	225,000	
合　　計	340,000	

（支出の部）　　（単位：円）

区分	項　　目	金　額	内　　容
経費①（対象経費）	人件費（団体会員に支払うもの，交通費を含む）	13,000	900 円×2 時間×7 回　（セミナー等の準備）
	人件費（団体外部に支払うアルバイト代等）		
	謝　金 （講師等に支払うもの）	140,000	2 万円×5 回　（吉備人出版山川代表） 1 万円×2 回×2 団体　（研修協力団体）
	旅費交通費 （講師等に支払うもの）	5,000	20 ㎞×25 円×往復＝1000 円×5 回
	消耗品費	20,000	コピー用紙、インク等、シール等
	印刷製本費	30,000	チラシ印刷（2 万円）、資料印刷（1 万円）
	通信運搬費	19,000	郵送料（NPO 団体告知等）200 か所×92 円
	保険料		
	使用料，賃借料	23,000	2,000 円×4 回（倉敷・講座） 5,000 円×1 回（岡山・講座） 5,000 円×2 回（Share 会議）
	委託料		
	小計　①	250,000	
経費②（対象外経費）	報償費・人件費	90,000	研修：コーディネーター1 万円×5 回 Share 会議：コーディネーター2 万円×2 回
	食糧費		
	その他		
	小計　②	90,000	
合　計		340,000	

（記入上の注意）

※　団体会員に人件費及び交通費を支払う場合は，**申込み前に**事務局に相談してください。
※　実施可能な経費，内容に見合う経費で計画してください。過大な経費は避けてください。
※　内容欄には，単価・数量等の内訳を記入してください。（別紙添付も可）
※　事業実施のために直接必要な経費だけ計上してください。団体の運営経費は対象外です。

※　**金額欄は切り上げて千円単位**で記入してください。